

震災復興派遣職員レポート（阿蘇市）

熊本県 阿蘇市 土木部 住環境課
稗田 浩紀



ー復興に向けて一歩ずつ前へー

■派遣先の阿蘇市

平成 28 年 9 月より阿蘇市への災害派遣として、熊本地震における公共下水道の復旧業務に携わり、あっという間に半年が過ぎました。

私が所属する住環境課は、都市・環境係，住宅係，下水道係で構成され、下水道係は公共下水道の計画策定から、管渠・ポンプ場・処理場といった下水道施設の建設・管理，浄化槽助成など下水道にかかる全般を、総勢わずか 4 人で業務を切り盛りしております。

現在も都市・環境係は火山灰処理，住宅係は損壊家屋や仮設住宅の関係手続き，下水道係は公共下水道の復旧等、課全体が災害対応に多忙な毎日を送っております。

「広報あそ 熊本地震特別号」より

平成 28 年 熊本地震

大地震の惨禍、傷跡深く。

●熊本三大部門にも甚大な被害をもたらした熊本地震の被害状況が、4月14日21時26分、4月16日1時25分、4月16日3時03分、4月16日3時55分、4月18日20時41分の5回発生した地震の震央と震度を示しています。●阿蘇市では、4月16日3時55分の地震で、市内の公共下水道施設の一部が被害を受けました。●阿蘇市では、4月16日3時55分の地震で、市内の公共下水道施設の一部が被害を受けました。

阿蘇市で被害をもたらした主な地震

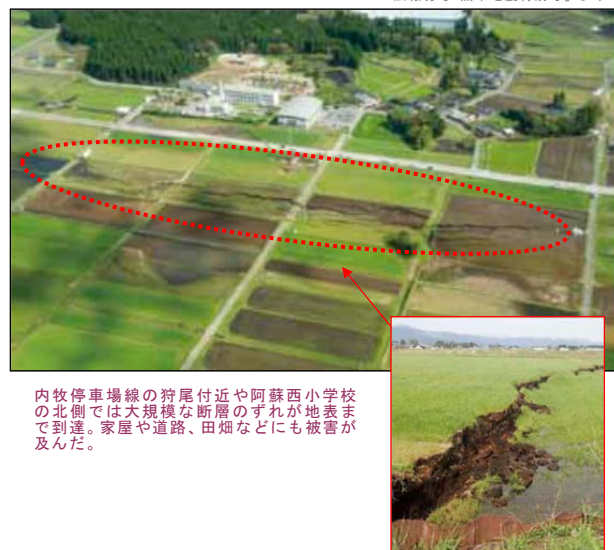
発生時刻	震央地名	阿蘇地方震度	最大震度
4月14日 21:26頃	熊本地方	5弱	7
4月16日 1:25頃	熊本地方	6弱	7
4月16日 3:03頃	阿蘇地方	5強	5強
4月16日 3:55頃	阿蘇地方	5強	6強
4月18日 20:41頃	阿蘇地方	5強	5強

■熊本地震の概要

阿蘇市は、今回の熊本地震において、道路や上下水道などの社会基盤，商工観光，農林畜産に関する施設などに甚大な被害に見舞われ、市民の生活はもとより、基幹産業までに多くの影響を受けております。

市内においては、地震により断層部で長く伸びる大きな地割れが発生するなど、その影響をまともに受けた道路は横断的に 1m を超える大きな段差が一夜にして生じました。

「広報あそ 熊本地震特別号」より



■公共下水道の被害状況

公共下水道については、管路約 2.3km、人孔 78 箇所、処理場の水処理施設等が被害を受け、被害総額は約 3 億 6 千万円を超えました。

上記で述べた断層部においては、最長約 60m 間で下水道管路が破断するなど、未だに宅内からの排水処理ができず、応急的な仮設排水を続けている箇所がある状況です。



県道内牧停車場線（狩尾地区）



陥没箇所のTVカメラ画像（内牧地区）



国道212号線（内牧地区）

■事業の推進

着任当時、福岡市からのバックアップを受け急ピッチで発注した工事の大半が入札不調に終わるなど戸惑うこともありましたが、現在少しずつではあるものの、災害復旧工事が動き出し、苦難も多いですが着実に一歩ずつ復興に向けて前に進んでおります。

今は、日々変化する災害復旧の現場において、生じる問題により工事が止まらないよう適切かつスピードある判断と対応を心がけ業務にあたっております。



下水道の復旧が進む現場



大きく地割れした断層部



断層部で被災した既設下水道管

■さいごに

熊本地震から一年が経とうとしております。私は、熊本地震発生当初に設置された熊本県下水道現地支援本部において、関係市町との総合調整等の業務に携わり、現在阿蘇市へ派遣を受け今に至ります。

発災当時から様々な面でようやく復興が進み出したところですが、未だ不便な生活を余儀なくされている被災者の方々もおられ、市民の皆様の『あたりまえの日常を取り戻す』という使命感を持ち、日々業務に取り組んでおります。

阿蘇市は、平成 24 年 7 月の九州北部豪雨、平成 28 年 10 月の阿蘇山爆発的噴火など、様々な災害に見舞われており、多種多様な大規模災害に対する状況対応力の必要性とそれに備えることの重要性をここに来て強く感じております。

人の暮らしの安心安全を担う土木技術者の端くれとして、阿蘇で暮らす“あそんもん”（阿蘇人）の一人として、住みやすいまち、観光でにぎやかなまちに早く戻るよう、阿蘇市職員の方々と共に、速やかにそして安全に復興を進めてまいります。